

ID	発症日	年齢	性別	国籍	職業	居住地	滞在国	滞在期間	発症場所	経過	検査結果	出典	概要
											アメリカトリパノソーマ症	FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma cruzi Infection in	90527に同じ
											新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; 773-778	90527に同じ
											パルボウイルス	Transfusion (Malden) 2009; 49: 1488-1492	90527に同じ
											HIV	Nature Medicine 2009; 15: 871-872	90636に同じ
											マラリア	Clinical Infection Deiseases 2009; 49; 852-860	ヒトにおけるPlasmodium knowlesi感染の臨床的な特徴および検査結果を調べる目的で、急性P. knowlesi感染患者の背景と経過について系統的に調べ、2006年7月-2008年2月に、Kapit病院でPCRにより急性マラリアと確定された、治療歴の無い非妊娠成人から臨床データおよび検査結果を収集した。152例のうち、P.knowlesi、P.falciparumもしくはP.vivaxに感染した症例は107(70%)、24(16%)および21(14%)であり、非特異的発熱症状のあるP.knowlesi感染患者の入院時寄生虫値の中央値は1387parasite/ulであり、全例が血小板減少を示した。ほとんどのP.knowlesi感染患者には合併症はなく、クロロキンおよびプリマキン治療で治癒した。WHOの熱帯性マラリアの判断基準により7人は重症であった。入院時のP.knowlesi寄生虫血症は呼吸困難の独立した決定因子であり、入院時の血清クレアチニンレベル、血清ビリルビンおよび血小板数と同様であった。2例のP.knowlesi感染患者が死亡し、死亡率は1.8%(95%信頼区間、0.2-6.6%)であった。P.knowlesiは広範囲の疾病を引き起こすが、多くの場合合併症伴わず、治療に速やかに反応し、約10人に1人が死亡を伴う合併症となる。
											新型インフルエンザ(H1N1)	The Canadian Press 2009 September 16	オーストラリアの研究グループは新型A1N1ウイルスに感染し重症となった妊婦では、ウイルスと戦い、体がワクチンに反応する助けとなる、特定の抗体が低値である事を発見した。ICUで治療中のブタインフルエンザ感染患者すべての抗体レベルを個々のサブタイプまで調べた結果、IgG2のレベルが低値であった。妊婦女性についてのみ調べた結果であるが、このIgG2欠損が、ほとんどの人はインフルエンザ症状のみで治癒するが少数例は危険となる理由が説明できる可能性がある。

ID	登録日	承認番号	製剤名	原料名	剤形	製造国	有効成分	有	無	無	適正 使用 情報	特効症(CTD)	出典	概要
338	2009/11/26	90746	ベネシス	乾燥濃縮人アンチ トロンビンⅢ	人アンチト ロンビンⅢ	人血液	日本	有効成分	有	無	無	細菌感染	日本細菌学雑誌 2009; 64; 220	90527に同じ
												新型インフル エンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ
												新型インフル エンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
												新型インフル エンザ (H1N1)	Science 2009; 10.1126/SCIENCE .1176062	90527に同じ
												リケッチア症	第83回日本感染 症学会総会 2009 April 23-24	90527に同じ
												ウイルス感 染	N Engl J Med 2009; 360; 2099- 2107	90505に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	HPA 2009 May 22	90527に同じ
												新型インフル エンザ (H1N1)	GDC/MMRW 2009; 58: 521-524	90527に同じ
												ウイルス感 染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Department of Health 2009 June 5	90527に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	FDA/TSE advisory committee 2009 June 16	90527に同じ
												アメリカ・トリ パノソーマ症	FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma cruzi Infection in	90527に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	品名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文庫	症例	承認使用種別	感染症(PID)	出典	概要
												新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; 773-778	90527に同じ
												パルボウイルス	Transfusion (Malden) 2009; 49; 1488-1492	90527に同じ
												HIV	Nature Medicine 2009; 15; 871-872	90636に同じ
												マラリア	Clinical Infection Deiseases 2009; 49; 852-860	90745に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	The Canadian Press 2009 September 16	90745に同じ
339	2009/11/26	90747	ベネシス	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体含有人免疫グロブリンG	人血液	米国	有効成分	有	無	無	細菌感染	日本細菌学雑誌 2009; 64; 220	90527に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	Sience 2009; 10.1126/SCIENCE.1176062	90527に同じ
												リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24	90527に同じ
												ウイルス感染	N Engl J Med 2009; 360; 2099-2107	90505に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA 2009 May 22	90527に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMRW 2009; 58; 521-524	90527に同じ

ID	発刊日	巻号	頁数	題名	著者	発行所	国名	有効成分	有	無	無	概要
												ウイルス感染 PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455 90527に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病 Department of Health 2009 June 5 90527に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病 FDA/TSE advisory committee 2009 June 16 90527に同じ
												アメリカ・トリ パノソーマ症 FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma 90527に同じ
												新型インフル エンザ (H1N1) CDC/MMWR 2009; 58; 773- 778 90527に同じ
												パルボウイ ルス Transfusion (Malden) 2009; 49: 1488-1492 90527に同じ
												HIV Nature Medicine 2009; 15; 871-872 90636に同じ
												マラリア Clinical Infection Deiseases 2009; 49; 852-860 90745に同じ
												新型インフル エンザ (H1N1) The Canadian Press 2009 September 16 90745に同じ
340	2009/11/26	90748	ベネシス	乾燥濃縮人血液 凝固第IX因子	血液凝固 第IX因子	人血液	日本	有効 成分	有	無	無	細菌感染 日本細菌学雑誌 2009; 64; 220 90527に同じ
												新型インフル エンザ (H1N1) CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21) 90498に同じ
												新型インフル エンザ (H1N1) FDA/CBER 2009 April 30 90523に同じ

品名	製造者	成分	性状	承認番号	販売開始年月	製造国	有効成分	効力	用法	禁忌	副作用	特記事項	出典	概要	
													新型インフルエンザ (H1N1)	Science 2009; 10.1126/SCIENCE.1176062	90527に同じ
													リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24	90527に同じ
													ウイルス感染	N Engl J Med 2009; 360; 2099-2107	90505に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA 2009 May 22	90527に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMRW 2009; 58: 521-524	90527に同じ
													ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009 June 5	90527に同じ
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA/TSE advisory committee 2009 June 16	90527に同じ
													アメリカ・トリパノソーマ症	FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma"	90527に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; 773 - 778	90527に同じ
													パルボウイルス	Transfusion (Malden) 2009; 49: 1488-1492	90527に同じ
													HIV	Nature Medicine 2009; 15; 871-872	90636に同じ

ID	発症日	発症年齢	発症場所	病原体	病状	検査結果	治療	経過	転帰	備考	参考文献	出典	概要
											マラリア	Clinical Infection Diseases 2009; 49: 852-860	90745に同じ
											新型インフルエンザ (H1N1)	The Canadian Press 2009 September 16	90745に同じ
341	2009/11/26	90749	ベネシス	乾燥人フィブリノゲン	凝固性たん白質	人血液	日本	有効成分	有	無	細菌感染	日本細菌学雑誌 2009; 64; 220	90527に同じ
											新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ
											新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
											新型インフルエンザ (H1N1)	Science 2009; 10.1126/SCIENCE.1176062	90527に同じ
											リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24	90527に同じ
											ウイルス感染	N Engl J Med 2009; 360; 2099-2107	90505に同じ
											異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA 2009 May 22	90527に同じ
											新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMRW 2009; 58: 521-524	90527に同じ
											ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
											異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009 June 5	90527に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生体由来品名	原料地名	原産国	含有	有害	無害	無害	無害	感染症(中)	出典	概要
													異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA/TSE advisory committee 2009 June 16	90527に同じ
													アメリカ・トリパノソーマ症	FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma cruzi Infection in	90527に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; 773-778	90527に同じ
													パルボウイルス	Transfusion (Malden) 2009; 49: 1488-1492	90527に同じ
													HIV	Nature Medicine 2009; 15; 871-872	90636に同じ
													マラリア	Clinical Infection Deiseases 2009; 49; 852-860	90745に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	The Canadian Press 2009 September 16	90745に同じ
342	2009/11/26	90750	東レ	-	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物	有	無	無		新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360; 2605-2615	90473に同じ
343	2009/11/26	90751	東レ	-	インターフェロンベータ	ヒト線維芽細胞	日本	有効成分	有	無	無		新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360; 2605-2615	90473に同じ
344	2009/11/26	90752	東レ	-	乳糖水和物	ウシ乳	オランダ、ドイツ、ベルギー及びブルクセンブルク	添加物	無	無	無				

ID	発症日	承認番号	製薬会社	原料	成分	製造国	製造工程	動物由来成分	遺伝子組換え	遺伝子検査	狂犬病(PET)	出典	概要
345	2009/11/26	90753	東レ	-	ウシ血清	ウシ血液	オーストラリア及びニュージーランド	製造工程	無	無	無		
346	2009/11/26	90754	東レ	-	トリプシン	ブタ膵臓抽出物	アメリカ合衆国及びカナダ	製造工程	無	無	無		
347	2009/11/27	90755	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	スイス	製造工程	無	無	無		
348	2009/11/27	90756	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	フランス、オーストリア、ドイツ	製造工程	無	無	無		
349	2009/11/27	90757	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ	製造工程	無	無	無		
350	2009/11/27	90758	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ膵臓抽出物	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無		
351	2009/11/27	90759	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシベプトン	ウシの皮及び骨由来ゼラチン	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無		
352	2009/11/27	90760	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシトリプトン	ウシの乳及びブタの膵臓由来酵素	アメリカ及びカナダ	製造工程	無	無	無		
353	2009/11/27	90761	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシTPCK処理トリプシン	ウシの膵臓	ニュージーランド	製造工程	無	無	無		
354	2009/11/27	90762	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	ブタカルボキシペプチダーゼ	ブタの膵臓	アメリカ	製造工程	無	無	無		
355	2009/11/27	90763	ノバルティスファーマ	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	バシリキシマブ(遺伝子組換え)	マウスモノクローナル抗体	-	有効成分	無	無	無		
356	2009/11/27	90764	メルクセローノ株式会社	ホリトロピナルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血液	1)マスターセルバンク(米国) 2)ワーキングセルバンク(米国)	製造工程	有	無	無	狂犬病	ProMED-mail 20090418.1470 米国ノースカロライナ州の農場で、2009年4月6～10日の週に仔牛1頭が狂犬病に感染し死亡した。Rowan Countryにおいて2009年5例目の症例である。

ID	発症日	番号	報告者名	一報名	発症由来	原産地名	飼養地	畜種	性別	年齢	通正	感染源(PT)	出典	概要
												狂犬病	ProMED-mail 20091001.3415	2009年9月28日、米国コロラド州El Paso Countyでは1匹のマウンテンライオンと1匹のウシが異常行動を示した後安楽死させられ、検査の結果狂犬病に陽性であったと公表した。このライオンとウシの感染源は不明であるが、公衆衛生局はこれまでに8匹のスカンクが狂犬病に陽性であったことから、スカンクとの関連を推測している。また、2009年9月25日、Calhanで狂犬病のウシが安楽死させられた。ウシの農場主およびウシを診察した獣医師とその助手は予防接種を受けていた。獣医師および当局は飼い主にペットへの予防接種を呼びかけている。
												結核	ProMED-mail 20090613.2198	2009年6月11日、ネブラスカ州中央北部で2例のウシ結核(TB)が確認された事を受け、他の31施設、約1万5千頭が検査を受けていると当局は発表し、この作業には月単位の時間がかかるが、その間、検査下にあるウシを移動させないよう要請した。州の農務局は病原動物の由来を特定してはいないが、ヒトがウシTBに感染する機会をほとんどないと述べた。
												結核	ProMED-mail 20090628.2343	インディアナ州で2箇所目のシカ科牧場でメスのエルクが結核(TB)に陽性であった。インディアナ州のBoard of Animal Health(BOAH)が5月にシカ類を調査した陽性結果から明らかとなった。BOAHは関連機関と協力してこの牧場の周辺隣接地域内の野生動物や地域内の牛舎の検査(radius testing)をする計画を立てている。ウシTBは主にウシに感染するが、恒温動物にも伝播する。TBは臨床症状だけでは診断が難しいため、牧場主は家畜の慢性的な痰咳を伴った肺炎などの感染症状に気付いたら獣医師に相談すること。
												炭疽	ProMED-mail 20090804.2750	米国サウスダコタ州において2009年で初めて炭疽症例が確認され、予防接種を受けていない250頭のうち5頭の仔牛が死亡した。炭疽胞子は土壌でいつまでも生き残るために、サウスダコタではアウトブレイクの発生の可能性が高くなっていると当局獣医師は報告した。アルカリ土壌、高温多湿は炭疽胞子を成長させ、草食動物への感染につながる。
												炭疽	ProMED-mail 20090815.2894	米国テキサス州Schleicher郡で牛(Angus Cow)に2009年で初めてとなる炭疽のアウトブレイクが報告された。TVMDL(Texas Veterinary Medical Laboratory)で陽性反応が検出された。
												炭疽	ProMED-mail 20090917.3266	米国North Dakota州南西部で、畜牛の検査において2009年で初めてとなる炭疽陽性結果が報告された。州の獣医師は、症例はHettingerとSlope郡境に沿って報告されており、ここ数年におけるこの地域での最初の確定症例である。また、死亡した家畜を見つけた牧場主は死体を処分する前に獣医師に相談すること。2005年のアウトブレイクの期間、ノースダコタでは500例以上の炭疽による死亡が確認された。